

秋田市農山村地域再生可能エネルギー共生協議会（第1回） 議事要旨

日 時 令和8年8月31日（月）
14時から15時45分まで
会 場 秋田市役所5階 会議室5-A
出席者 別紙名簿のとおり

1 開会

2 説明事項・議題

- (1) 説明事項 農山漁村再生可能エネルギー法の概要について
- (2) 議 題 秋田市農山村地域再生可能エネルギー基本計画素案について

3 質疑等内容

- (1) 説明事項 農山漁村再生可能エネルギー法の概要について
委員からの質疑等はなかった。
- (2) 議 題 秋田市農山村地域再生可能エネルギー基本計画素案について
資料に沿って説明を実施、質疑は以下のとおり。

委 員 ユナイテッドリニューアブルエナジー社（以下、URE社という。）
が出力抑制の影響を受けていることは理解したが、そもそも出力抑制
が増えている要因はどのようなものか。

委 員 女川原子力発電の再稼働が一番の要因と思料。これに合わせ、太陽光
発電や風力発電などの再生可能エネルギー（以下、再エネという。）
の導入が増加していることも要因と考えられる。

委 員 補足をさせていただく。出力抑制は東北エリアでの電力需要量と発電
量のインバランスを回避するため、東北電力ネットワークが講じる需
給調整の手段である。これを回避するには、再エネ発電が盛んな地域
内での電力需要量を増加させ、地元で電力を地産地活する、もしくは
、域外へ電力を送電するという手法が考えられる。市では前者にお
いて、市内に電力多消費型産業を集積させる取組を推進しているところ
である。また、後者では現在、東北電力ネットワークが岩見三内地区
内に送電設備を整備し、これを起点として、電力需要が旺盛な首都
圏への送電を行う設備の整備を進めているところである。

委員長 出力抑制はどのように回避されるのか。また、今回の計画の認定によ
り、URE社が受けるはずであった出力抑制が他に振り分けられるよ
うな形となるのか。

委 員	バイオマス発電は、他の再エネの中でも出力抑制の順位が第一位となっている。そのため、計画の認定によりこの順位が下がることで出力抑制が回避されるものと認識。また、弊社の出力抑制の回避により、他のバイオマス発電所、特に外国産材を利用するバイオマス発電所が出力抑制の影響を受けるものと予想される。
委 員	P K Sの利用について、現行のF I T法上、使用制限はないのか。
委 員	木質チップの含水量が増えると発電効率が下がるため、発電所の仕様上P K Sを併用している。弊社としては、今後木質チップの乾燥方法を工夫するなど、P K Sの利用量を削減できるよう検討していく考えである。
委 員	情報提供をさせていただく。中央森林組合においても年間800トンの木材をU R E社に供給している。供給にあたっては、10年間の供給契約を締結した上で実施している。
委 員	コスト面や手軽さから全国的にメガソーラー含む太陽光発電が増加している。秋田は日照時間が短いため、他地域に比べると太陽光発電の導入量は低調であり、脱炭素やエネルギー安全保障の観点からも地域の特性を活かした再エネの導入は重要である。こうしたことから、今回、基本計画を策定し、秋田の林業と密接に関連するバイオマス発電を支援することは、地域の活性化の観点からも、再エネの多様性を確保する観点からも理にかなっていると言える。
委 員	燃料に「もみ殻」を活用することはできないか。
委 員	現在、F I T認定を受けて弊社の事業計画に「もみ殻」を燃料として利用することが想定されていないため、国への計画変更が必要と認識。また、設備としても「もみ殻」を燃料として利用することを想定しておらず、安定的に燃料を投下できるかなどの技術検討が必要と認識。一方、「もみ殻」も地域に在するバイオマスと捉えており、活用策について検討をさせていただきたい。
委 員	市内で「もみ殻」が大量に出るものの使途が限定的で余っている。ぜひ、検討をお願いしたい。
委 員	もみ殻を高温で燃焼させると、クリストバライト（結晶質シリカ）に変わり、その粉じんを吸い込むと珪肺症（肺の線維化）や発がん性のリスクがあるため、灰の利用には留意が必要。

委員長	発電所内のチップ置き場に屋根はあるのか。
委 員	屋根はないため、飛散については注意を払っている。所内では毎朝清掃しているほか、毎月飛散状況調査を行っている。
委員長	含水率が各チップによって異なる状況においては、チップが発熱し、火災につながるケースも散見される。
委 員	火災のリスクについては認識しており、日に4回の温度測定やチップの攪拌、巡視等、安全対策を徹底している。
委 員	7(1)の目標について、木質チップの使用量は水分量によって変化すると考えられるが、この数値はカロリーベースで記載するべきではないか。また、目標が達成されない場合の罰則はあるか。
事務局	目標未達成時は市が是正指導を行い、改善されない場合は認定を取り消すこととなる。目標値についてはカロリーベースで整理していると認識。今後、この点についてURE社とすりあわせを行い、整理させていただく。
委 員	森林内に系統用蓄電池を設置したいという問い合わせが多く寄せられている。この点、市に問い合わせはあるか。
委 員	市にも相談があった案件もある。系統用蓄電池については市内でも事業検討が進んでいると認識している。また、地権者の了解を得ずに系統の空抑えを行うなど、投機的な事業を行う企業も散見される。今後、組合にそういった相談があった場合、情報提供をお願いしたい。
委員長	基本計画に掲げる「地域」が示す範囲は。
事務局	「秋田市内」を想定している。
委員長	URE社の燃料は全県から調達しているようだが、市内からの調達量など計画に記載しない情報においても整理が必要ではないか。
事務局	他県の先行事例等を参考に記載内容を検討させていただく。
委 員	先ほどの話に戻るが、大潟村の「もみ殻」を活用した取組についても参考としていただきたい。

委 員	再造林の取組はどのようなものを考えているか。
委 員	さくらファンドへの寄附に加え、再造林推進協議会への入会を通じて再造林を支援していく考えである。今後、同協議会の活動を対して取組をさらに進めていきたい。
委員長	再造林はもちろん大切だが、成林まで見据えて行動することが重要。森林組合とも連携して取組を進めてほしい。

- 3 その他
委員からの質疑等はなかった。

- 4 閉会